

思いを生かした表現のみりよくを感じ取ろう

～ベートーベン「交響曲第5番「運命」第1楽章」～

小学校6年 音楽

「演奏のみりよく」

関連資料、人物理解

ねらい

○作曲家ベートーベンや指揮者、演奏者の意図や思いを感じ取り、興味を持って曲を聞くために資料を活用することができる。

学 習 展 開

- ① 「運命」を聴き、「なぜ、この曲はこんなにも有名なのか。」を探っていくことが本時のめあてであることを確認する。
- ② 曲を聴き、リズム、強弱、音の高低、くり返しなど、曲の特徴をつかむ。
- ③ ベートーベンはこの音楽で何を表したかったのか考える。
- ④ ベートーベンの生き方（ベートーベンの伝記）について紹介し、人物像、交響曲「運命」が生まれたいきさつについて知る。
- ⑤ 「運命」が時空を超えて、今も聞かれている（有名な）理由について自分の考えをまとめる。

6年音楽 演奏のみりよく
思いを生かした表現のみりよくを感じ取ろう
6年 音楽 6年
曲名：交響曲第5番「運命」第1楽章から 作曲家：ベートーベン
めあて：
ねらい：
学習のねらい、達成している点：
○ベートーベンについて調べをしましょう。（メモを取りましょう）
振り返り

授業で使用したワークシート

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 教科担当者は、学習のねらいや本学習で扱う曲、ベートーベンの人物像、指揮者・演奏者の意図・思い・表現の工夫などについて、音楽主任と共同で教材研究を行った上で、ねらいを達成する資料を考える。
- 司書教諭、学校司書は、本学習のねらいに即した資料を準備し、授業で活用できそうな部分をピックアップする。
- 教科担当者は、学校司書が準備したベートーベンに関する本を授業で読み聞かせし、人物理解を図る。

★指導のポイント

- ◆ 交響曲「運命」が今もなお聞かれ続けられている理由を追求することにより、作曲者の思いや工夫、指揮者、演奏者の表現の工夫に着眼させる。
- ◆ 伝記「ベートーベン」の一部を読み聞かせることにより、人物像や曲の背景に迫る。
- ◆ 曲の冒頭の「タタターン」に込められた思いを知ることで、音楽活動を楽しむきっかけの一つとさせたい。

資料

「おもしろくて やくにたつ 子どもの伝記5 ベートーベン」(ポプラ社)、「楽しく読めてすぐに聴ける 音楽をもっと好きになる本3 音楽家に親しむ」(学研)、「総合百科事典ポプラディア」2巻・9巻(ポプラ社)、「もっと知りたい! 人物伝記事典1 芸術・宗教に生きた人びと」(フレーベル館)、「この人を見よ! 歴史をつくった人びと 伝17 ベートーベン」(ポプラ社)他